

私たちの手で変える未来



令和6年度

子ども模擬議会・中学生サミット

今年で27回目となる「子ども模擬議会」が8月9日に市議会議場で開催されました。市内8校の中学校・義務教育学校から子ども議員8人と子ども議長1人が参加しました。次世代を担う子どもたちが、ふるさと「土浦」をより良いまちにするために考えた提案とそれに対する市の答弁の概要を紹介します。

また、今年度初の試みとなる「中学生サミット」を同

日開催しました。各校の代表が、身の回りの課題について一緒に考え、交流を深めることを通して、地域社会の一員としての自覚をもって行動し、地域社会に主体的に参画しようとする態度を育てることを目的としています。

☎子ども模擬議会について…広報広聴課(☎内線2399)
中学生サミットについて…指導課(☎内線5131)

■当日のスケジュール

- 13:00～ 議場見学
議会リハーサル
- 14:00～ 子ども模擬議会
市長挨拶
- 15:00～ 中学生サミット
記者取材



「子ども模擬議会」の議長と「中学生サミット」の司会を務めました。

事前学習は大変でしたが、この体験を通して、市政の仕組みや他校の取り組みを知ることができました。これからの学校生活に活かしていきたいと思います。



土浦二中
関川 陽花乃 さん



サミットの様子



模擬議会の様子

土浦市中学生サミット

中学生が司会とパネリストを務め、各校で取り組んでいるルールメイキング(生徒が中心となって、先生たちと話し合いながら、校則やルールを見直していく取り組み)の課題や今後の方向性について、意見を交わしました。

誰もが安心して生活できる学校をつくるために、わたしたちに何ができるのか
～みんなの納得解をつくるためのルールメイキングとは～



各校で行ったルールメイキングの取り組みを教えてください

アンケートを行い3つの校則を変更。今も検討を続けています



目安箱を設置して、要望があった髪型に関する校則を変更しました



ルールメイキングを進めていく上で感じたことは何ですか

自分たちの意見が学校全体を動かすことができたのは嬉しかったです



みんなの意見をまとめることは難しかったです



ルールメイキングの取り組みの中で感じた課題は何だと思いますか

みんなが納得するルールにする方法を考えることが課題だと思いました



決めたことを全生徒に理解してもらえる文章にし、説明することが難しいと感じました



これからのルールメイキングに大切なことは何でしょう

より活発に意見が出やすいような雰囲気づくりなどの工夫が必要だと思います



多数決ではなく、少数意見も取り上げ丁寧に検討していくことが必要だと思います



中学生サミット宣言

わたしたちの議論の成果をまとめた3つの宣言を採択しました。

- ①全生徒が関わること
- ②誰もが自由に考えを言えること
- ③少数意見を大切にすること

各校では、この理念のもとに、今後もルールメイキングについて話し合いが行っていきます。



子ども模擬議会の質疑応答

子どもの遊び場所の確保を

亀城公園は遊んでいる子どもが多くありません。その原因は、①遊具の老朽化と種類の少なさ、②草花が少なく寂しい、③自由にボールで遊べないことであると、私は考えます。

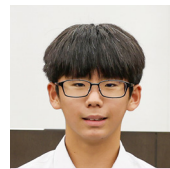
子どもの遊び場所を確保するため、使用ルールの見直しや新しい遊具の設置、草花を増やして景観を向上させること、イベントの開催や、休憩・勉強スペースなどの新規設置を提案します。



土浦一中
高橋 希 議員

子育て支援策の拡充を

テレビなどで子育て支援施策のニュースを見ることがありますが、少子化の波は止まらず、子育て支援には課題が山積しているように感じます。そこで、子育て世帯への経済的補助、特に3人以上の子どもがいる世帯へのさらなる補助などの支援と、精神的支援として、「産後うつ」など子育てに悩んでいる人に向けて、専門家による無料相談や悩みを共有できる場所の開設を提案します。



土浦二中
風間 蓮 議員

【飯泉都市政策部長】公園の遊具は毎年点検を行っており、亀城公園の遊具も、今年度新しいものに交換予定です。また、桜の植え替えやイベント開催、ベンチの設置などにより、幅広い年代の方で賑わう亀城公園の整備に努めてまいります。

【安藤市長】「経済的支援」として、児童手当などの現金支給や給食費無償化、医療費助成、「精神的支援」として、専門家による家庭訪問や子育て家庭の交流・仲間づくりができる環境の整備などを実施しています。今後もさらなる充実に努めます。

ごみを減らすために

中村陸橋下にはさまざまなごみが捨てられていてとても驚きました。原因は、ごみの処理にお金がかかってしまうことだと思います。

そこで、物の値段に処理費用を含めて設定し、廃棄するときに費用が返金される仕組みを導入すること、ごみが捨てられてしまう場所に花を植えて、捨てにくい状態にすることを提案します。

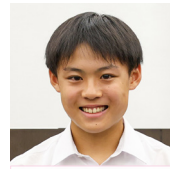


土浦三中
茂木 智洋 議員

セレクト給食で食べ残しゼロへ

私は給食が大好きですが、好き嫌いで食べ残してしまう人がいます。地球上では、栄養のある食事を取ることが難しい地域もあるので、できるだけ食べ残さないことが大切だと思います。

そこで、「セレクト給食」を提案します。生徒同士で相談してメニューを決めることで、「食」に対する興味を持つことができ、食べ残しを減らすことにつながると思っています。



土浦四中
阿久津 丈雄 議員

【水田市民生活部長】自動車や家電4品目などには既にリサイクル料が導入されている制度があり、議員の提案は的を射たものだと思います。花壇による環境美化の取り組みとあわせ、正しいごみの処理について周知・啓発を行ってまいります。

【加藤教育部長】給食は成長期に必要な栄養などを考え作られていますので、苦手な献立にもチャレンジしてほしいと思います。「セレクト給食」は、食べ残しを減らす効果が期待できますので、実現に向けて検討を進めてまいります。

議長室を見学

副議長に挨拶

模擬議会の様子



災害や救命が必要な時の対応訓練の充実へ

最近、災害に関するニュースをよく目にします。しかし、実際に災害の発生に直面した際に、適切な行動ができる人は少ないと思います。そこで、災害だけではなく事故などの際に人命が損なわれることを減らすために、①地域一斉の避難訓練、②地域で行う消火器訓練、③地域で行う救命救急講習など、訓練を充実させることを提案します。



土浦五中
佐久間 柊英 議員

安心・安全な地域クラブ活動を

休日の部活動が地域クラブ (Blue Ocean) に移行したことで、大人数での練習や、経験のある指導者から指導を受けられるなどの利点を感じていますが、クラブ活動中にけがをすることも少なくありません。

そこで、私たちが安心してクラブ活動ができるよう、クラブの指導者が、けがに応じた適切な処置方法を学ぶ研修の機会を設けることを提案します。



土浦六中
坂本 結愛 議員

【檜山消防長】消防本部では、毎年、実践的な避難訓練や自主防災組織による消火器訓練、救急救命講座を実施しています。災害時や事故の現場で適切に落ち着いて行動するためには、繰り返し学ぶことが大切なので、訓練などにぜひご参加ください。

【入野教育長】医療機関受診までの応急処置については、地域クラブの指導者に定期的に研修を行っております。生徒の皆さんも、けがを防ぐためのケアについて勉強する機会を設け、自ら考え、充実した活動を行えるようにしてまいります。

防災意識を高めるために

南海トラフ地震に関するテレビ番組を見て、日頃から防災意識を持つことで、災害時に迅速な対応ができると思いました。ところが、私の周りでは、防災について何も行っていない人もいて、個人の防災意識は高くないと感じます。そこで、防災意識を高めるために、防災バッグを市民に配ること、市のホームページでバッグの使い方や避難の方法などの動画を掲載することを提案します。

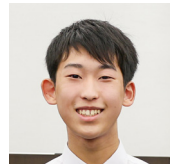


都和中
松本 史央 議員

伝統や歴史を残したまちの開発へ

神立駅が最近新しくなりましたが、私は、前の駅舎が好きだったので、寂しく感じました。これからの開発では、便利さと、市民の心のより所となる外観の両方を考えなければならないと思います。

そこで、伝統や歴史、残すべき風景などを調査した上で、市民参画により新しいまちのデザインを決定していくことを提案します。



新治学園
中川 悠真 議員

【塚本総務部長】災害時に必要なものは一人ひとり違います。日頃からご家族と一緒に話し合い、いつ起こるか分からない災害に備えてください。ホームページの動画掲載のご提案は、非常に効果的と考えますので、早速取り組んでまいります。

【小林副市長】神立駅周辺開発では、駅舎イメージや障害者サポートなどにさまざまな方の意見を取り入れました。歴史や伝統は尊重すべき貴重な財産であるため、便利さはもとより、まちの伝統や良さを感じられるまちづくりを推進してまいります。

